

兄弟姉妹が別々の
保育所となった場合の対応は

転所の申込みをしていただき
定員に空きがあれば
再度利用調整を行っている

福田 千夏 議員(公明) 市では、利用調整の際に加点は、兄弟姉妹が同じ保育所に通えるよう、どのような対策をとっているのか。また、24時間開園する夜間保育に対する市の見解も聞きたい。



子ども家庭部長 対策については、利用調整の際に加点しているものの、就労時間が短い方は、加点を行っても点数的に及ばないことから、場所が別々となる状況がある。24時間開園している施設はないが、これまで延長保育の拡充等を図っており、今後も保育ニーズの把握に努め、国等の動向を注視していく。

都が中小企業・小規模企業振興条例を制定したことを受けて、本市でも条例制定を検討する考えは

関係団体と有効性に関する検証を行うなど、必要な対応を図っていききたいと考えている

結城 亮 議員(共産) 市全体の商店街の景況が衰退傾向であると言われる中、市は商店街の活性化について、効果が実証されている施策を検討す

多磨駅周辺地区における
バス路線の整備に関する方針は

将来にわたって利便性の高い
利用環境を維持していきたい

西宮 幸一 議員(市友) 新たに策定された立地適正化計画では、都市機能誘導区域として多磨駅周辺地区が設定されている。そこで、市は駅周辺の都市機能充実に向け、どのように取り組む考えか。

都市整備部長 多磨駅周辺については、市民の暮らしに必要な都市機能等が求められる重要な拠点であると認識しているため、道路等の整備や大型商業施設の立地に合わせたまちづくりなど、長期的な視点で持続可能な都市経営に取り組んでいきたい。



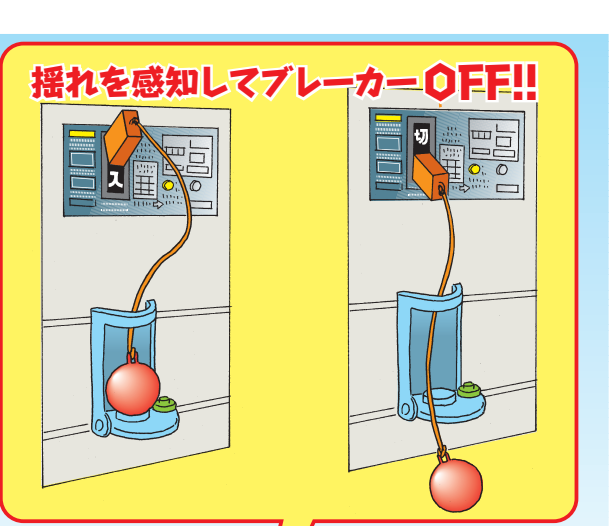
▲多磨駅周辺

感震ブレーカーの設置補助制度を
新設する考えはないか

全国市長会へ要望を行っているほか
他市の状況を調査・研究している

赤野 秀二 議員(共産) 本市の耐震化率は、平成29年度の推計値で91・9%と聞く。そのような中、市耐震改修促進計画では、32(2020)年末までに耐震化率を95%にする目標となっているが、どのように達成させる考えか。

都市整備部長 耐震化に関する緊急的な取組方針を定めた市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムでは、32(2020)年度までに旧耐震基準の木造住宅約1万戸全てを訪問する計画とし、フォローアップも含めた対応を考えている。



地震発生!! おもり玉の落下でブレーカーを落とす

国民健康保険特別会計への
繰入れをゼロとすることに伴う
未納金は最終的に誰が補うのか

都の基金から借りるか
一般会計からの法定外繰入れで
市が負担することとなる

杉村 康之 議員(自由) 平成30年第4回定例会で、一般会計から国民健康保険(国保)特別会計への繰入れを減額し、国保税の負担を増やす条例改正がなされた。背景には、20年間で繰入れをゼロにする考えがあるとのことである。そのような中、被保険者への影

響については、例えば夫婦共働きの4人家族で700万円の収入がある世帯の税額はどのようになるのか。

市民部長 30年度の世帯課税額は年間44万628円で、繰入れをゼロとした場合は69万5040円と想定される。

議員 繰入れをゼロとするなら、被保険者の税負担を増やすこととなり、払えない人の分を払える人が払うため、自営業者や個人事業主が負担することになるのではないかと。今後、払えない人は確実に増えてくると思うが、未納金について最終的に誰が補うのか。

市民部長 都の基金から借りるか、一般会計からの法定外繰入れで市が負担することとなる。